
赤色の絵具

otto

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

赤色の絵具

【Nコード】

N9779S

【作者名】

otto

【あらすじ】

どうしてこうなった。

探さなきゃ。探さなきゃ。探さなきゃ。

机の引き出しを引っかき回す。筆箱の中身をぶちまけて散らかす。引き裂く勢いで教科書のページをめくる。

どこにいった。どこにいった。

腕が震える。汗が止まらない。首筋がやけに冷えるのに、お腹の奥は燃えるようにに熱い。

ない。ない。ない。ない。ない。

頭がぼうつとする。確かに探し物をしているはずなのに、何を探しているのか、はっきりしない。

一旦、手を止める。立ち上がって部屋を見渡してみる。足の踏み場もないほど、物が散乱している。とても自分の部屋とは思えない惨状になっている。壁に留めてあったカレンダーが落ちて画鋲が上を向いている。棚のフィギュアが床の上で身体を真つ二つにして転がっている。本棚の中身が乱雑に投げ出され山を作っている。

絶対どこかにはるはずなんだ。もつと探さなきゃ。

部屋の真ん中でぐるぐると回転しながら、見落としている場所を探索する。だんだん平衡感覚がおかしくなる。目が回る。視界が次第にぼやけていく。目眩に似た感覚が脳内を覆う。

ふと、目に飛び込んできた、その場所。

そつだ。

まだあそこを探していない。

探さなきゃ。探さなきゃ。

急に止まったせいで、足元がふらつき大きく転倒する。左脚に鈍い痛みが走る。画鋲がふともみに刺さったのかもしれない。そんな事も構わず、部屋の隅にある押入れに這いずり寄る。腕を伸ばして、ふすまの取っ手を何とか掴み、勢いよく引き開ける。

ゴトツ、ドンツ。

上の棚から重い物体が転がり落ちる。正面からモロに突撃されて下敷きになる。慌てて押し退けてようとするが、やけに重くて苦戦する。歪な形をしていて、垂れ下がる髪の毛が鼻先をくすぐる。やけにヌルヌルした手の平を見返すと、絵具のような赤色がべつとりと付いている。

絵具。

その瞬間、急に思い出した。

ああ、そうか。そうだった。

美術で使う絵具を忘れて、家まで取りに戻って来たんだっけ。

確か、押入れの奥にしまっていたんだよな。

これのことかな。上に乗っかってる重いやつ。

でも、こんなに大きくないよな、普通。

しかもなんかヌルヌルするし、髪の毛あるし。

もつとよく探さなきゃ。早くしないと< >に怒られちゃう。

ズキッ！

頭を殴られたような激痛が到来する。逃れられない痛みはどうしようもなくなつて頭を掻きむしる。

< >って誰だ？ そんな奴知らない。誰に怒られるってい

うんだ。怖がることなんてないじゃないか。

震える手を押さえながら深呼吸をすると、少し痛みが収まる。やつのことで物体を押し退けて立ち上がる。

押入れの棚をくまなく見回す。布団の上に大きく赤色が染み付いている。奥の方に、絵具の容器が何本か散らばっていた。中身の色がはみだして床に垂れ流れているが、構うことなくポケットに突っ込む。なぜか容器が異様に尖っているせいか、ポケットの裾に引っ掛かってしまい上手く入らない。

痛っつ！

思わず引き抜いて見ると、容器の尖った所が突き刺さったのか、人差し指から血が滲み出ている。それが、赤色の絵具がこびり付いた手の平に、混ざる。

同じ、色だ。

なんで、どうして。

そつだ、さつき落っこちてきたやつ。確かあれを触ってて付いたんだ。

血？　こんな赤かったっけ？　まるで絵具みたいじゃん。

はは、当分は赤色に困らないな。そんなに使わないと思うけど。

額に浮き出た汗を腕で拭くと、絵具と混ざって薄いピンク色になった。おもむろにくんくんと鼻を鳴らしてみる。油のような臭いがした。急にお腹がぐう、と鳴った。

そついえば、お腹空いたな。今朝は朝ご飯食べたっけ。

作ってくれなかったのか。< >がずつつと寝てたから。

ちゃんと起こしてやったんだ。揺さぶって引っ叩いて殴って落として刺して。でもいつまで経っても起きないからどうしようもなかったんだ。大体寝すぎなんだよ。病気でもないのに、一週間も布団にこもりやがって。いつも邪魔だったから、頭にきて今朝は押入れの中に閉じ込めたんだっけ。だから学校に遅れたんだ。しかも忘れ物までするし。全部< >のせいだ。< >が悪いんだ。

やばい、こんな事している場合じゃないや。

早く、学校に行かなきゃ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9779s/>

赤色の絵具

2011年10月8日06時26分発行